

研究実施のお知らせ

研究課題名: 廃用症候群予防の視点からみた離床過程における患者の精神的側面の変化

研究期間: 令和 8 年 2 月～令和 9 年 1 月

仙台市立病院では、倫理審査委員会の承認及び院長の許可の基、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和 3 年 6 月 30 日施行)に基づき、匿名化された情報の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

令和 8 年 4 月から 5 月中旬まで当病棟に入院していた患者さん

【研究の目的と意義】

廃用症候群予防の視点から、離床過程における活動量の変化と患者さんの精神的側面の変化について、患者さんとの関わりを振り返り、調査・考察いたします。得られた結果から廃用症候群予防に向けた看護支援について検討し、積極的な早期離床や機能回復、意欲の向上に繋げることを目的とします。

【研究の方法】

文献を用いて、活動量と精神的側面との関連について先行研究を収集します。また、対象患者さんの診療録および看護記録から、年齢、性別、疾患名、ADL、安静度などの基本情報を収集します。さらに、患者さんの発言内容や表情、意欲、不安など精神的側面に関する記録を収集します。

【研究に用いる情報の種類】

年齢、性別、診断名、既往歴、入院期間、検査データ、医師記録、看護記録
診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報
を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

【利益相反の状況】

この研究は、研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師及び分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点や研究に関するご質問がございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

【問合せ先】

仙台市立病院 ICU 病棟

電話: 022-308-7111(代表)

病棟師長 小西 綾乃 渡辺 千恵子

研究者 有住 優那